

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

行政

岐阜県のいろんな顔を多くの方に伝えたい



竹中 久美子

観光資源活用課

H24年 採用 東濃振興局
H26年 観光課
H29年 政策研究大学院大学派遣
H30年 商工政策課
R 3年 現所属

入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁前の職員像は、事務作業を淡々と行うイメージでした。しかし1年目の最初の仕事は、駅前でミナモと一緒に交通安全のキャンペーン。3年目の観光課ではメディアへの売り込みや撮影のお手伝いなども行いました。国や市町村、企業の方とも頻繁にやり取りをします。入庁前には想像できなかったほど外部と関わることが多く、仕事の幅も広がります。

現在の仕事内容を教えてください

東美濃エリアのPRやイベント実施、市町村等が行う観光振興事業の支援などです。県内外へ出張に出かける日もあれば、机の上で申請書とにらめっこの日もあります。観光部署への配属は現在で2度目。知らない観光地が多くガイドブックを読み漁った当初と比べ、同僚と議論をする余裕も生まれ、仕事楽しくなってきたところです。

働く環境についてはどう思われますか

私は2年間の産休・育休を経て、今年度から職場復帰をしました。復帰の不安をよそに子どもは4月1日から発熱。その後も繰り返し体調を崩しましたが、その都度周囲に温かくフォローしていただいています。子育て中の同僚も多く、育児に関する情報交換も気軽にいきます。不要な残業はせず、限られた時間で成果を出すことを目指す、適度な緊張感と連帯感のある職場です。

今後実現したい夢はなんですか

雪深い飛騨から日本一暑い東濃まで、愛車で県内あちこち旅をして、入庁前には知らなかった魅力に何度も出会いました。岐阜県は地域によってさまざまな顔があり、飽きることはありません。この楽しさを多くの方に知っていただけるよう、魅力を発信し続けていきたいです。

行政

業務を着実にこなし、岐阜県の魅力を高めることにつなげ、多くの人に関心を持ってもらいたい



安部 樹

公共交通課

H17年 採用 科学技術振興センター
H18年 研究開発課
H19年 イベント・スポーツ振興事業団派遣
H21年 公共交通課
H25年 議会事務局総務課
H27年 教育委員会社会教育文化課
H29年 文化伝承課
H30年 医療整備課
R 3年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

大学進学をきっかけに、県外での生活をスタートさせましたが、その時初めて地元への愛着に気づくとともに、ゆくゆくは地元に関わる仕事に携わりたいと思いました。就職を検討する中、広域のかつ多岐に渡る分野で働くことができる岐阜県職員を志望しました。

仕事をする上で大切にしている考え方やポリシーを教えてください

仕事をする上で大切にしている考え方は「積極性」と「スピード感」です。仕事を進めていく上で、困難な事案に遭遇することもあります。そのような時こそ、気持ちを強く持ち、積極的かつスピード感をもって対応するよう、心がけています。

働く環境についてはどう思われますか

仕事上の悩みについて、相談しやすい雰囲気であるため、とても働きやすい環境です。これまでの仕事を振り返ると、自分1人では解決できない課題もありましたが、そのような時は、1人で抱え込むことなく、上司や同僚に相談することによって、課題解決につなげることができました。

今後実現したい夢はなんですか

県内外問わず、岐阜県のファンを増やすことです。これからも担当する様々な分野の業務を着実にこなすことによって、岐阜県の魅力を高めることにつなげ、多くの人に関心を持ってもらいたいと思います。

心理

いろいろな配属先や業務内容を経験しながら、広い視点でより良い支援ができるようになりたい



中島 詩絵里

中央子ども相談センター

H29年 採用 現所属

入庁して考え方が変わったことはありますか

入庁してから現在まで、中央子ども相談センター（児童相談所）の配属ですが、異なる業務に携わってきました。行政機関として、法律や制度に基づきながら、目の前の子どもや家族に寄り添い、その家庭に合った支援をする大切さを実感しています。

現在の仕事内容を教えてください

現在は児童心理司として働いています。児童相談所というと、虐待対応をイメージする方が多いと思いますが、実際は障害相談や非行相談など、内容は多岐に渡ります。児童心理司は、心理検査や面接を通して、子どもの特徴や、その家庭が抱えている問題を探りながら、支援の方向を考えます。また、児童福祉司や外部の関係機関と連携して、家族を取り巻く環境にもアプローチする役割も担っています。

働く環境についてはどう思われますか

対応する相談は深刻なものも少なくなく、自分の知識・経験不足を痛感し、思い悩む場面は絶えません。しかし、困ったときには、長年児童福祉分野で活躍されてきた上司や先輩が親身に助けてくださいます。また、心理関係の研修に参加できる機会が多く、働きながら知識やスキルを習得できる環境だと思います。

今後実現したい夢はなんですか

子ども相談センターをはじめ、県管轄の福祉機関など、岐阜県の心理職の活躍の場は様々です。いろいろな配属先や業務内容を経験しながら、広い視点でより良い支援ができるようになりたいです。